

# からふる



令和3年11月 秋号  
発行：千歳市教育委員会

「からふる」は、千歳市の特色ある教育や学校の取組を広く紹介するために、年4回発行する季刊紙です。子どもたちや学校にはそれぞれの特徴があります。その個性がさらに色鮮やかに輝いてほしいという願いを込めて「からふる」と名づけました。

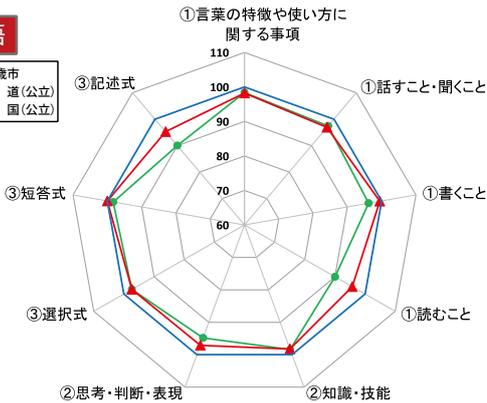
## 令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果

### 【小学校】 教科全体

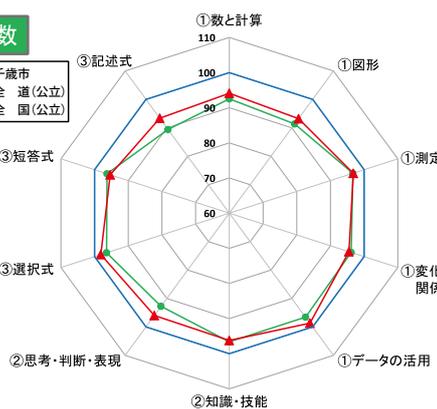
### 国語、算数ともに全国を下回り、前回(平成31年度)より差が広がる

**国語**は、前回、全国との差を0.4ポイントに縮めました。今回は、2.3ポイントに差が広がりました。領域別では、「話すこと・聞くこと」が前回は上回り、全国との差を縮めました。が、「書くこと」「読むこと」は前回は下回り、全国との差が広がりました。「言葉の特徴や使い方に関する事項」は全国をやや下回りました。  
**算数**は、前回、全国との差を3.2ポイントに縮めました。今回は、3.6ポイントに差が広がりました。領域別では、「数と計算」「図形」が前回は下回り、全国との差が広がり、「測定」「変化と関係」「データの活用」は全国をやや下回りました。

#### 国語



#### 算数



	国語 【全14問】	算数 【全16問】
千歳市	8.7問 62.4%	10.7問 66.6%
北海道	8.9問 63.2%	10.8問 67.5%
全国	9.1問 64.7%	11.2問 70.2%

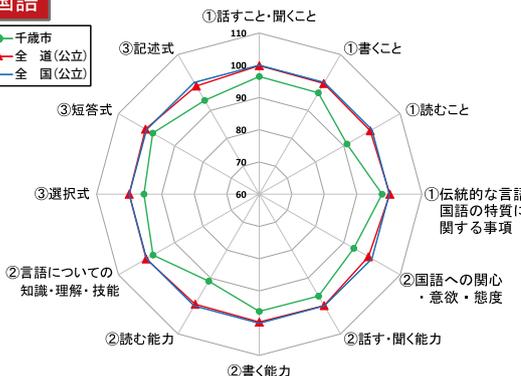
上段：平均正答数、下段：平均正答率  
○調査対象…小学校16校 第6学年 812名  
(北進小学校を除く。)

### 【中学校】 教科全体

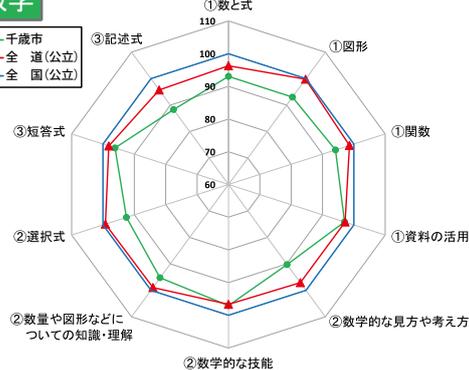
### 国語、数学ともに前回(平成31年度)よりも全国平均に近づく

**国語**は、前回、全国との差が5ポイントに開きましたが、今回は2.7ポイントに縮めました。領域別では、「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が前回は上回り、上昇傾向にあります。今回、「話すこと・聞くこと」は上昇しましたが、経年をみると上下を繰り返しています。「読むこと」は、連続して前回は下回り、低下傾向にあります。**数学**は、前回、全国との差が6.4ポイントに開きましたが、今回は3.5ポイントに縮めました。領域別では、「数と式」「関数」「資料の活用」が前回は上回り、全国との差を縮め、特に、前回落ち込んだ「関数」は4年前とほぼ同様の状況に回復し、「資料の活用」は過去4年間で最高の成績となりました。

#### 国語



#### 数学



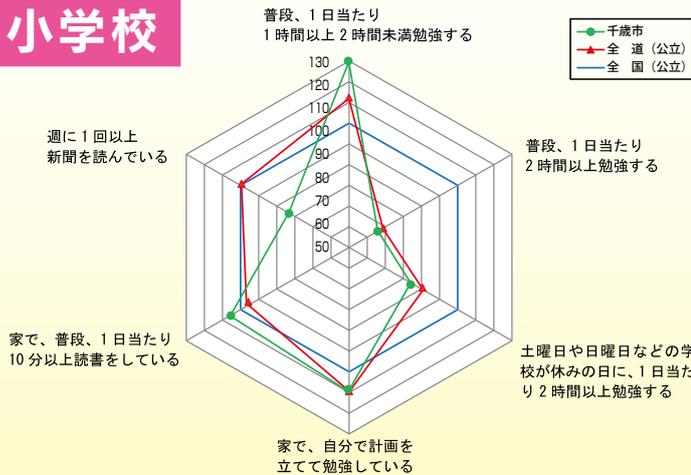
	国語 【全14問】	算数 【全16問】
千歳市	8.7問 61.9%	8.6問 53.7%
北海道	9.0問 64.5%	8.9問 55.9%
全国	9.0問 64.6%	9.1問 57.2%

上段：平均正答数、下段：平均正答率  
○調査対象…中学校8校 第3学年 787名  
(北進中学校を除く。)

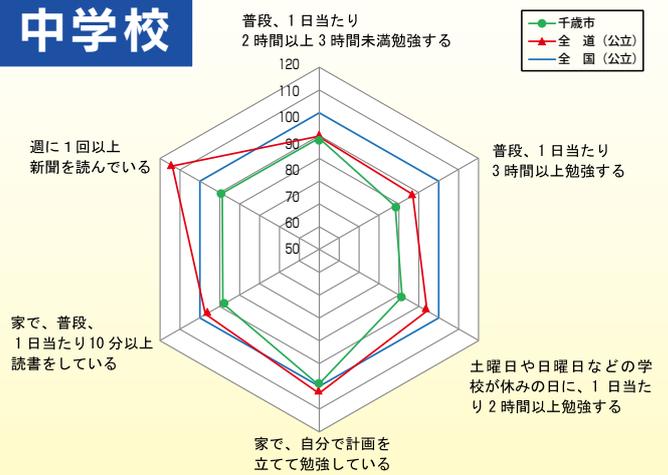
# 学習習慣

## 家庭生活の中で、自ら学習の計画を立てて、学習の時間を増やすことが課題

### 小学校



### 中学校



※ 今年度調査では、「学校図書館・地域図書館の利用」の質問が削除されたため、この質問項目に替えて、新たに「土曜日や日曜日の勉強時間」の1項目を取り上げております。

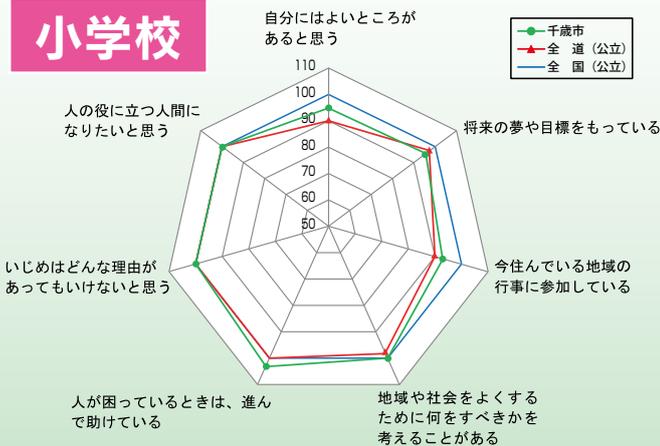
小学校での家庭学習時間については、「普段、1時間以上2時間未満勉強する」児童が全国を大きく上回っており、各学校が取り組んできた「学年×10分+10分の家庭学習」が定着している状況が見られます。1週間の総学習時間を増やすことが千歳市の課題であることから、今後も「学年×10分+10分の家庭学習」の基準を超えて学習する児童を増やすとともに、休日の学習時間を確保する取組を全市的に展開していくことが大切です。

中学校では、学校が奨励している平日「2時間以上3時間未満勉強する」と回答した生徒の割合はやや増加しておりますが、依然、全国を下回る状況が続いております。「普段、3時間以上勉強している」「土日に2時間以上勉強する」生徒の割合はやや増加しておりますが、全国よりも相当低く、家庭での学習時間を増やす取組を全市的に展開していく必要があります。「自分で計画を立てて勉強している」生徒の割合は、前回と同じく全国とほぼ同様となっております。家庭での学習時間を増やすため、自ら学習の計画を立てる機会を設け、生徒の努力を積極的に認め励ます取組を通して、主体的に学習しようとする態度を育む必要があります。

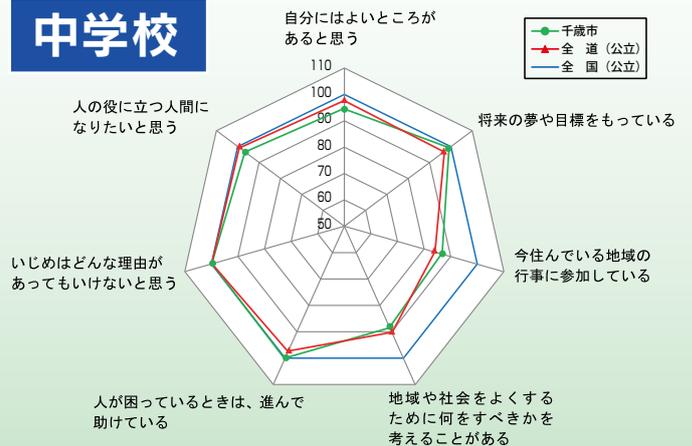
# 自己有用感・規範意識

## 自己有用感はやや低下傾向、他者理解への意識は高まっています！

### 小学校



### 中学校



「自分にはよいところがある」と回答した児童生徒の割合は、小中学校ともに前回よりも低下し全国を下回っており、自己有用感はやや低下している傾向が見られ、また、地域行事に参加している児童の割合についても前回よりも低下し全国を下回っております。全体的に、周囲とのかかわりの低下がみられる社会状況に影響を受けた結果となっており、実態に配慮した取組が求められています。一方、「人が困っているときは、進んで助けている」「いじめはどんな理由があってもいけないと思う」「人の役に立つ人間になりたいと思う」の他者理解については、各小学校における「いじめ根絶」の取組や、中学校における生徒会による主体的な「いじめ撲滅運動」等が、児童生徒の他者理解への意識を高め、成果となって表れ、小中学校ともに全国と同様のレベルを持続しております。

# 学校の特色ある取組を紹介します！

## 北栄小学校

### ～本の好きな子どもたちに！～

北栄小学校の図書室はとても魅力的です。週に3回来校する学校司書の山本さんや、図書ボランティア「はっぴいぶっく」の皆さんによって、季節に合わせた素敵な装飾をしていただき、子どもたちがわくわくするような図書室になっています。また、月に2回、各学級でのボランティアさんの読み聞かせがあり、子どもたちは目をきらきら輝かせながらお話に夢中です。



子どもたちの読書意欲は数字にも表れ、総貸し出し数は、まもなく10,000冊に到達する勢いです。前期の終業式では、読書目標を達成した子どもたちが校長先生から表彰されました。これからも本が大好きな子どもたちであふれる図書室にしたいですね。



## 祝梅小学校

### アイヌの文化や歴史に触れて～ふるさと教育～

祝梅小学校は、昨年度より「北海道ふるさと教育・観光教育等推進事業校」の指定を受け、3年生から6年生までの4年間を見通した「アイヌの人たちの文化や歴史」について、総合的な学習で学ぶことになりました。自分たちの住むふるさと千歳に関係の深いアイヌについて、3年生は「アイヌの人たちとサケ」、4年生は「アイヌの人たちの生活」、5年生は「アイヌの人たちの言葉」、6年生は「サケ料理とサケの活用方法」についてアイヌ協会の協力を得ながら学ぶことになりました。どの学年の子どもたちも、教科書だけでは得ることができない貴重な体験や知識の数々に、楽しんで学習することができました。



## 勇舞中学校

### ～GIGAスクールに向けた取組と伝統の継承～

勇舞中学校では、今年度開校10年目を迎えています。開校当初から落ち着いた校内環境と生徒の主体的な行動を育むためにノーチャイムを実践しています。



現在、GIGAスクール構想の実現に向けて、校内のLAN環境の整備、普通教室の電子黒板が液晶型75インチのものへ更新、一人一台端末整備などが進む中、今年度は文部科学省の「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」に取り組み、国語科を中心として紙媒体等も併用しながら積極的な活用を推進しています。



今後とも、日々の授業を大切にしながら、学力向上に努めていきます。



## 新しい外国人英語指導助手（ALT）の紹介

### MULLINS MICHEAL モーリンズ マイケルさん



<出身地> アメリカ（ウエストバージニア州） <誕生日> 4月25日

<趣味> アウトドア、読書、ゲーム

<皆さんに一言> Looking forward to helping everyone learn English. Let's have fun and learn together!

皆さんに英語を教えるお手伝い出来る事を楽しみにしています。楽しみながら一緒に学びましょう！

<千歳市の印象> I love the forest and rivers around Chitose.

Also the international airport is convenient for travel.

千歳の森と川が大好きです。国際空港があるのも旅行するのに便利です。



# さいきんのわだい

## 千歳市・指宿市青少年相互交流事業 ちとせ★いぶすき～ふるさとガイドオンラインツアー～

9月23日(木・祝)に、姉妹都市である鹿児島県指宿市の児童8名と千歳市の児童11名でオンライン交流を行いました(7月31日(土)には千歳市メンバーだけで事前学習を実施)。各自、事前に自分たちの住むまちで紹介したい場所やものを選び、調べ学習をして、オリジナルの動画やパワーポイント、画用紙にまとめる等工夫を凝らし、当日は緊張しながらもふるさとガイド役になり発表しました!おやつや飲み物、お醤油等の特産品を送り合い、歴史や文化、観光、まちづくりの違いを感じながら、姉妹都市の絆を深めました。



## 「令和3年度なかよしさわやかDAY・いじめシンポジウム」のお知らせです!

今年もいじめ等の問題をみんなで考えるために「なかよしさわやかDAY・いじめシンポジウム」を開催します。新型コロナウイルス感染症対策のため、基調講演の動画配信と提言校からの「いじめ防止」に関する取組の資料の配付・紹介により実施することとなりました。



講演テーマは「ネットいじめ・ネットトラブルの最新事例とその対処法」とし、全国ICTカウンセラー協会代表理事の安川雅史氏にスマホの機能、そしてネットいじめの実態を知り、インターネットでのトラブルやいじめを撲滅するため、最新の事例とともに適切な対処法についてお話していただくこととしており、11月27日(土)から一定期間、インターネット上で配信する予定です。是非、学校やご家庭でたくさんの皆さんに視聴していただき、いじめ防止について考える機会としていただきたいと思います。詳しくは今後、学校を通じてお知らせします。

## わたしのおすすめ図書～学校司書さんに聞きました～

<北陽小学校/信濃小学校 学校司書 星 志穂子さんおすすめ>

### 「どっちでもいい子」

かさいまり 作/岩崎書店

ハルは小学4年生の女の子。いつも「どっちがいい?」と聞かれても決められず、「どっちでもいい。」と答えてしまいます。でもある日、クラスの友だちが自分のことを「いていなくてもどっちでもいい子。」と言っているのを聞いてしまい、ショックを受けます。周りの人の気持ちを深く考え、「どっちでもいい。」と答えていたハル、やがて自分が変わるきっかけとすることができます。「どっちでもいい。」は便利なことばですが、「私はこう思う。」と友だちに伝える大切さに気づくことができます。一冊です。



<千歳中学校/富丘中学校 学校司書 櫻井 敦さんおすすめ>

### 「ツバメ号とアマゾン号」

アーサー・ランサム作、神宮輝夫訳/岩波少年文庫

全集の発売等を経て現在は岩波少年文庫にラインナップされています。イングランド北西部湖水地方を舞台にヨットの操舵、子どもたちだけのキャンプ、湖の探検、宝探しなどなどウォーカー家の4人きょうだいの夏休みの冒険がイキイキと描かれています。子どもたちの創意工夫も見どころの一つですが、大人顔負けの船舶知識等、船好きの方にはたまらない作品となっています。少年文庫版には上橋菜穂子さんの愛溢れる解説も追加されています。



## 桜木小学校 ～私たちの単P活動～

桜木小学校PTAは、佐々木会長はじめ事務局11名を中心に、全会員が主体的に参加するPTA活動を展開しています。「学級レク」「ベルマーク推進」「花壇推進」「スケート貸出」等の活動がありますが、メインは「親子祭」。さまざまな催しやイベントが行われ、地域も楽しみにしている一大イベントです。しかし、昨年、今年と新型コロナウイルス感染防止のため、残念ながら中止となっています。感染の落ち着きを見て、少しずつPTA活動を行っていきたくと考えています。

写真は、2年前におやじの会が中心となって実施した「雪とあそぼう」の様子です。

今年は実施できるといいですね。



編集・発行 千歳市教育委員会 (千歳市役所第2庁舎2階 教育部 企画総務課)

■住所: 〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地

■電話: 24-0819 (直通)

■FAX: 27-3743

■E-mail: kyoikukikaku@city.chitose.lg.jp

■URL: <https://www.city.chitose.lg.jp/>